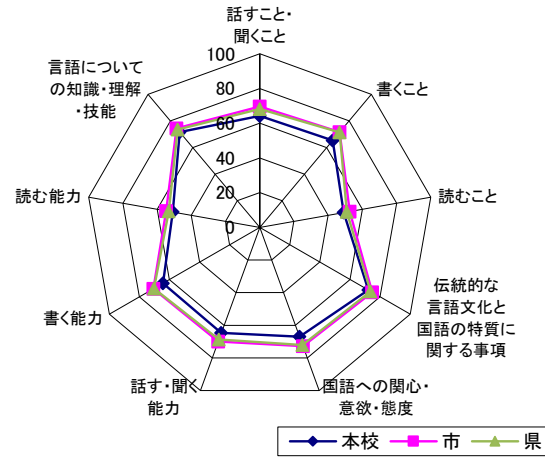


宇都宮市立鬼怒中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	64.2	69.6	68.2
	書くこと	65.3	71.7	71.5
	読むこと	49.1	52.6	51.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.2	74.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度	67.0	72.8	72.1
	話す・聞く能力	64.7	69.9	68.7
	書く能力	64.3	70.7	70.3
	読む能力	50.9	54.7	53.1
	言語についての知識・理解・技能	71.7	74.5	73.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の内容を聞き取る問題と司会者の工夫を聞き取る問題では、正答率が県の平均より高い。 ●平均正答率が、市・県平均から4ポイント以上下回っている。	・授業の中で発表やグループ活動を取り入れ、話の聞き方や、話し方の工夫を身につけさせる。
書くこと	●書くことの問題及び、記述式の問題の正答率が、市・県平均から5ポイント以上低い。	・書くことに対して苦手意識があるため、短い文章を書かせる練習をし、書く事への抵抗を減らす。 ・授業の中で感想や、意見を書かせる時間を取り入れる。
読むこと	○文学作品の内容を読み取る問題では、4問中3問が県の平均正答率を超えている。 ●平均正答率が市・県の平均を下回っている。特に説明的文章の問題での正答率が低い。	・説明的文章における、文章の構成や展開について詳しく説明する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○古典の分野での、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題では県の平均正答率を大きく上回っている。 ●文を文節に正しく区切る問題では、正答率が低くなっている。	・文法問題の正答率が低くなっているため、復習の時間や、問題演習の時間を取り入れる。